

ナビゲータ

子どもの手話の力を育む
「こめっこ」
美術館スタッフ

0歳から美術館で手話に触れよう！

参加
無料

ちっちゃん こどもびじゅつあー ～絵本もいっしょに～

主催・会場 国立国際美術館
(大阪市北区中之島4-2-55)



国立国際美術館(大阪・中之島)で開催！

美術館で、
どんな手話に
出会えるかな？

子どもの手話の力を育む「こめっこ」がナビゲータの回では、

絵本読みや美術館体験を通して、たくさんの手話に触れることができます。

おすすめポイント

POINT 01

美術館という
いつもとはちがう空間で、
手話に触れる機会を
たくさん持てます。

いろいろな場面の
手話に触れられます。

POINT 02



POINT 03

絵本読みや
美術館体験を通して
親子でコミュニケーションを
楽しめます。





ちっちゃなこどもびじゅつあー ～絵本もいっしょに～

ある日の流れ



1 受付 (15:15~)

「こめっこ」と美術館スタッフがお迎えますので、ご安心ください。



2 自己紹介 (15:30~)

参加者のお名前呼びからスタートします。

3 絵本よみ (15:35~)

「こめっこ」による手話での絵本よみです。日本語の音声通訳もあるので、きこえるお子さん、保護者も一緒に楽しめます。



4 美術館体験 (15:55~)

作品の前で「こめっこ」が手話で対話することからスタートします。何を話しているのかな。子どもたちの目は作品と手話にくぎづけになるはずです。対話の後は、親子でのんびりとした時間を過ごします。「こめっこ」、美術館スタッフが常にサポートしますので、ご安心ください。



5 ふりかえり+絵本よみ (16:35~)

展示室でどんな体験をしたのかな。ふりかえりをしてから、最後に「こめっこ」による絵本よみを楽しみます。いつもとはちがう場所でたくさんの手話に触れて、今日の活動は終了です。



16:40頃 活動終了

参加者の声

手話で抽象的なイメージや形を表現してくださって、親は勉強になり、聞こえない子どももたのしめました。



芸術と手話両方にふれることができよかったです。普段、子連れで美術館に行くのは難しいので、このような機会があつてよかったです。



2回目の参加で、子どもの成長を感じられたし、子どもが作品を見る様子がみられて嬉しかったです。



※アンケートより抜粋

国立国際美術館

1977年に、日本万国博覧会(1970年)の万国博美術館を譲り受け、日本で4番目の国立美術館として万博記念公園内に誕生しました。主に1945年以降の国内外の作品を中心に収集し、2004年の大阪・中之島への新築移転を機に、美術館、作品と来館者をつなぐ様々なプログラムを展開しています。WEB|www.nmao.go.jp



NPOこめっこ

きこえない・きこえにくい子どもたちがご家族とともに“目で見てわかる”手話ということばに出会い、伝えられる・わかり合える体験を重ねながらコミュニケーションの芽を育んでほしいと願って、「こめっこ」がスタートしました。「こめっこ」は0歳～未就学のろう・難聴児が集まり、遊びをとおして手話を獲得・習得する場です。

WEB|www.comekko.com

2017年6月 乳幼児期手話言語獲得支援事業「こめっこ」(日本財団助成事業)スタート

公益社団法人大阪聴力障害者協会が大阪府と連携・協力して運営

2020年2月 NPOこめっこ(特定非営利活動法人 手話言語獲得習得支援研究機関)設立

2020年4月 NPOこめっこが「こめっこ」の活動を引き継ぐ



対象

0歳から未就学のきこえない・きこえにくいお子さんと保護者(きこえるお子さんも大歓迎です。)

申し込み方法

「ちっちゃなこどもびじゅつあー～絵本もいっしょに～」のこめっこ回は、年間数回開催しています。

開催日時・申し込み方法は、当館WEBをご参照ください。

国立国際美術館 WEBはこちらから →



国立国際美術館

THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

国立国際美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55

TEL 06-6447-4680(代表番号) *平日 10:00~17:00 FAX 06-6447-4698

協力:大阪府「こめっこ」プロジェクト

絵本選書:「美術と絵本を考える会」